



活動を振り返り、次に何ができるかを考えること

校長 野田 恵美

5・6年生が所属する委員会では、子供たちがそれぞれの活動を振り返り、次に何ができるかを考え、実行している姿が増えています。生活委員会では、学校を楽しくする、明るくするために「あいさつ運動をしよう」と考えました。毎月3日間やろうと決めたのですが、1回目をやってみて、2つの改善がされました。昼の放送であいさつ運動のことをPRし、さらに2回目の当日はよびかけの言葉を書いた看板を手にもって、「おはようございます!」と呼びかけていました。図書委員会では、あじさい読書週間に「この本大好き!」という取組を集会で紹介するときに「言葉で伝える」だけではなく、四つ切り画用紙でポイントとなる言葉を書いて、めぐりながらお知らせをしていました。低学年にもわかりやすい工夫だな、と感心しました。保健委員会では、屋内でのけがが多いことをふまえて、けが防止のために「安全パトロール」と称して、常時活動として、休み時間に校内をまわっています。そのときにパトロール隊と一目で分かるように、たすきをつけていました

また、児童議会では嬉しかったことや楽しかったことなどを見つける「HAPPY BOX」を盛り上げたいと考え、校内に設置する募集箱を新しくしたり、昼の放送で紹介したりしていました。放送委員会では、昼の放送をもっと楽しんでもらおうと、リクエストをもらう方法をひと工夫するようです。



いずれも子供たちが自分の視点で現状をとらえて話し合い、よりよい形を考え、行動にうつしていることが素晴らしいと思います。委員会は異学年で構成されており、上の学年の背中を見て、下の学年が「まねて学ぶ」という場面も多く見られます。こうした姿は学校で集うからこそできるよさの1つでもあります。授業やそのほかの場面でも、子供たちの活動がどのように広がっていくかが楽しみです。

【 お知らせ 】

◆ 夏休みのポスターや習字、作文などの作品募集の形式が変わります。

これまで、学校に提出していただいていた作品募集ですが、今後は尾張旭市からH&Sで募集があり、それぞれの担当課や主催者に直接提出することになります。詳細は夏休み前のお便りでお知らせします。

◆ スクールガードさんを募集します

スクールガードと聞くと、「毎日子供と一緒に歩いてくれているボランティアさん」というイメージが浮かぶ方が多いのではないのでしょうか。その通り、城山小は子供たちの安全のために力を注いでくださっている方に支えられています。しかしながら、だんだんと高齢化が進み、スクールガードさんの数は毎年減少しています。「毎朝、やらないといけない」「登録したら絶対にやらないとだめ」ということはありません。「できる曜日だけ」「できる時間だけ」「できる区間だけ」と、気軽にとらえていただき、まずは始めてみませんか。

「お庭からの登下校見守り隊」という形でも結構です。ご登録をお待ちしております!★問い合わせ53-5020

